

学生コーディネーター企画

「ボランティア相談室」

2019/10/16~25

「ボランティアに関心はあるけど、一人で始めるのは不安…」 「継続できるか心配」といった学生に対して、1日から始められるボランティア活動の機会を提供することで、“はじめの一步”を踏み出してもらうことを目的としてボランティアセンターが毎年実施している「1dayボランティア」の参加者募集に合わせ、昨年度に引き続き、今年も『ボランティア相談室（以下、相談室）』を実施しました。

『相談室』は、ボランティア活動に興味はあっても、参加まで踏み出せないでいる学生に対して、学生コーディネーターが自身の経験を踏まえ、同じ学生の目線から相談に応えることで、ボランティア参加への不安を軽減し、実際の活動につなげることを目的としています。

過去2回の『相談室』は、昼休みの間に学生コーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティア希望者の相談に応えるという形で実施してきましたが、今回は新たに、「出張ボラセン」の実施と「ボランティア情報ファイル」の作成にも取り組みました。

■「出張ボラセン」の実施

「出張ボラセン」は、今までボランティアセンターで行っていた『相談室』の取組を、より多くの学生が集まる生協広場に出張して実施しようという取組です。『相談室』実施期間中の最初の一週間に「出張ボラセン」を行いました。

初めての取組ということもあり、仕切り等がない開かれている広場の中で、相談したいと思った学生が話しやすいと思えるようなスペースを準備できなかったこと等、課題もありました。

しかし、生協広場で実施したことによって、普段ボランティアセンターのある1号館を訪れる機会がない学生とも交流することができ、多くの学生にボランティアセンターや「1 dayボランティア」について知ってもらえる機会になったのではないかと思います。

■「ボランティア情報ファイル」の作成

「ボランティア情報ファイル」は、ボランティアを募集している団体の情報を、私たち学生コーディネーターがまとめて冊子にしたものです。

今回は、「1 dayボランティア」の参加者募集時期ということ踏まえて、「1 dayボランティア」の受入団体の情報をファイルにまとめました。団体紹介や活動時間、活動場所だけでなく、その団体の活動にボランティアとして参加したことがある学生による「参加者の声のコーナー」を作り、掲載することによって、活動中の雰囲気や活動の魅力がよりリアルに伝わるような、オリジナルの情報ファイルになりました。

自分と同じ立場である学生がボランティアとして活動に参加し、どのようなことを感じたのかを知ること

によって、ボランティアに参加しようか悩んでいる学生の不安を軽減できたのではないかと思います。

■今後に向けて

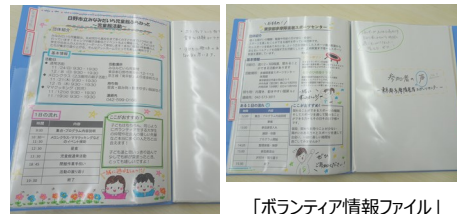
今回、より多くの学生に『相談室』を利用してもらうためにはどうすればよいのかという視点から、学生コーディネーターで話し合い、新たな2つの取組を実践しましたが、今回の『相談室』実施を通して、ボランティアセンター自体の認知度を上げる必要があること等、新たな課題も見えてきました。

多くの学生にボランティアセンターの取組を知ってもらい、気軽に利用してもらえるような環境を学生コーディネーターとして、つくってきたいと思います。

(学生コーディネーター 井上)



▲生協広場で実施した「出張ボラセン」の様子



「ボランティア情報ファイル」